長洲町教育委員会会議録

会議録	平成30年度 第15回 長洲町教育委員会会議		
招集年月日	平成31年2月27日(水) 午前9時30分		
招集場所	長洲町役場 3階 第1委員会室		
出席者	委員会	教育長 戸越政幸、教育長職務代理者 坂本裕文、 田中伏美委員、隈部寿命委員、徳田美津子委員	
	事務局	学校教育課	学校教育課長 松林智之
		生涯学習課	生涯学習課長 藤井 司
欠席者	なし		
職務説明責任者	松林 学校教育課長		
会議録作成者	松林 学校教育課長を指名		

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	議案第24号	町議会提出予定議案「平成30年度 一般会計（教育関係）補正予算（案）について（学校教育課）」
第 4	議案第25号	町議会提出予定議案「平成31年度 一般会計（教育関係）当初予算（案）について（生涯学習課・学校教育課）」
第 5	報告第35号	「立花宗茂公夫人の墓」周辺整備に係る検討委員会意見書について（生涯学習課）」
第 6	報告第36号	平成31年2月校長会について（学校教育課）」
第 7	報告第37号	生徒指導について【非公開】（学校教育課）」

開会（午前9時30分）

（事務局）

皆さまおはようございます。ただいまから、第15回長洲町教育委員会議を開催いたします。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第1項に基づき、会議の議事進行を教育長にお願いします。

（戸越 教育長）

はい。おはようございます。本日は、出席委員が定数に達しておりますので、この会議が成立することを報告します。あらかじめ、お諮りします会議の議題は、事前に通知したとおりでよろしいでしょうか。なお、日程番号の第7、報告第37号につきましては、個人情報が含まれる案件ですので、非公開としますがよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

（戸越 教育長）

日程番号第1、議事日程について、本日1日間とします。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

（戸越 教育長）

日程番号第2、会議録署名委員の指名について、徳田委員を指名します。

（徳田 委員）

はい、お受けいたします。

（戸越 教育長）

日程番号第3、議案第24号について、事務局から説明をお願いします。

（議案第24号 学校教育課長説明）

（戸越 教育長）

この件に関しまして、ご質問、ご意見があればよろしくお願いします。

（隈部 委員）

ヘルメットは希望者に配布。

（松林 学校教育課長）

希望調査を取って希望される方に配布しまして、希望されない方の分は保管します。

（隈部 委員）

長洲中の自転車通学の規定として、自転車通学ができるかできないかの決まりはあるのか。

（松林 学校教育課長）

長洲中の自転車通学に関しては、昨年からはPTAの保護者を中心に検討委員会を立ち上げられて、安全対策もしながらモデルとして実施をしています。学校としては規定は設けてはありませんが、歩いてきている生徒もいます。生徒が今166人中80人ほどが自転車で来ています。

（田中 委員）

今はモデル地区なので半分ほどの地域、遠い人だけを対象にさせてもらっているが、

来年度からは全地区になる。今 PTA と調整しているが規定をどうするかは今から決まってくる。私たちの気持ちとしては全部という形で。保護者に協力してもらうことが条件になる。保険に加入する、などをチェックして合格が出れば自転車通学ができる。

(松林 学校教育課長)

4 月に入ったらすぐ自転車通学ではなく、自転車の安全点検をして、合格したらシールを自転車に貼るようにしています。対象はすべての生徒です。家が近い生徒は歩いてくることもあります。駐輪場の設置も当初予算であげているので、130 台ぐらいが入るような駐輪場を想定しています。学校では、30 人ぐらいは歩いてくるだろうという予想のようです。

(田中 委員)

3 年間の間に職場体験などで学校として自転車で連れていくことが何回かある。そういう時に必要。

(隈部 委員)

全員が自転車通学になると想定しておいた方がいいということ。職場体験に行くから急に自転車点検してとなるのか。

(田中 委員)

通学は PTA で学校行事は学校ということで保険に入ってなくても、学校からの指導で自転車を利用する。

(松林 学校教育課長)

ヘルメットの着用は、通学や部活動で学校に自転車で来る場合が義務となっています。一回家に帰って私服に着替えて自転車で出る場合は、保護者の責任なので必ずヘルメット着用ではないです。かぶった方が安全なのでかぶってくださいというお願いは学校からしているようですが、着用の強制はないです。

(田中 委員)

去年までの英語辞典を配っていた分がこれに代わるのですか。

(松林 学校教育課長)

それは小学校の卒業生の記念品として送っています。

(田中 委員)

ではこれも卒業記念品として。

(松林 学校教育課長)

卒業記念品ではありますが、英和辞典とは別のもので、今回から新規で送るものです。

ですので、腹栄中、長洲中以外の中学校に行く生徒、例えば区域外から来ている生徒にも配布します。

(隈部 委員)

卒業記念となると全員にあげないといけなくなるのでは。

(松林 学校教育課長)

小学校 6 年生の全員に毎年渡します。今年タイミングが遅かったのですすでに購入している人もいるようで申し訳ないですが、それでも希望すればお渡しします。

(徳田 委員)

すでにモデル地区の子供たちはすでに着用して来ているようだ。

(松林 学校教育課長)

今の1, 2年生は今使用しているヘルメットをそのまま着用してもらいます。今回、お配りするのは新1年だけですので。ある議員さんから、長洲中の保護者の方が検討委員会を立ち上げて自転車通学をと頑張っておられるので、教育委員会として子供たちに安全対策を何かないのかという話がありました。教育長と何がいいのか検討しましてヘルメットという結論になりました。

(戸越 教育長)

急なことですが、水面下で動いていたが、最終的に議会を通さないといけないので、なかなか外に出せずにいた。購入先なども調整が必要。課題もあるがいい方向に進むようにしたい。他ございませんか。次の3ページの方にいきます。

(戸越 教育長)

よそを調べてないからわからない。ではこの件に関してはよろしいでしょうか
(異議なしの声あり)

(戸越 教育長)

それではこの件に関しては、終わります。次に行きます。

(戸越 教育長)

日程番号第4、議案第25号について、事務局から説明をお願いします。
(議案第25豪 学校教育課長説明)

(戸越 教育長)

この件に関しまして、ご質問、ご意見があればよろしくをお願いします。

(田中 委員)

放課後事業について、コーディネーターには相談があつて、「にこにこクラブ」さんのスポーツ活動で週に1回、4つの小学校回る計画でしたが、却下されているが。

(松林 学校教育課長)

「にこにこクラブ」さんに放課後のスポーツ、運動の方をしてもらうということで予算を計上しておりました。結果、査定で落とされております。理由としては町の財政事情が厳しいことと、代替案で体協や人材バンク、個人の方とかを活用するなど工夫してできないか検討をお願いしたいということでした。

(隈部 委員)

「にこにこクラブ」にやってもらう意味はどこにあるのか。

(田中 委員)

運動活動を増やそうというところだと。学校の部活動がなくなったので。

(松林 学校教育課長)

スポーツに親しむことや体力向上が目的でして、保護者の送迎ができないため、社会体育のクラブ活動に行けなくても週に1回スポーツができる環境を作るということで計上したものでした。「にこにこクラブ」さんも現在、NPO 法人ですが、人材の確保や運営面は厳しいようです。

(隈部 委員)

専門的な技術を学ぶのではないので、スポーツに親しむのであれば、ボランティアでもいいのではと思うが。

(松林 学校教育課長)

高学年には少し競技の技術を学ばせたいと思っていまして、低学年はゲーム感覚で楽しむ感じで指導してもらえたらと考えていたものです。

(田中 委員)

なかなか人材が見つからないのでお願いしようとしたのだが、お願いできないとなると、コーディネーターの負担になる。

(松林 学校教育課長)

個人の方をお願いすると、その方の考え方やレベルに応じて指導をしていただくことになるので、ばらつきが出て難しいところではないかと思っています。

(戸越 教育長)

町の財政が、と言われると厳しい。体協という話が出たが、体協に入っておられる方の年齢とかを考えると、その時間に出てきてしてもらうことはできない。ボランティアで、といっても年齢的にも高齢になってくる。働き盛りの人はその時間にはいない。

(徳田 委員)

子どもたちは体を動かすことは好き。31年度においては放課後のプログラムについては選択制と言われた。保護者が考えて選ぶのだろうけど、こうやって考えても親の意見で決まる。内容をもう少し考えて遊びながら学ぶような。英語に関しても遊ばせる、なじませる感じでいいと思うが、コーディネーターと担当の外国人とがうまく伝わってないのではないかと感じる。学校の授業と同じような感じでされているので。

(松林 学校教育課長)

教育委員会でやっているから何か目的や目標を持って取り組むことが必要と思います。

もう少しやり方を工夫しないと子どもたちが締め付けられているような感じになるようです。極端に言えば、週1回は好きなことをするか。外遊び、体を動かすことは好きですので。部屋にこもってすること、特に勉強は嫌な子が多いようです。

ちなみに寺子屋での指導は、NPOから2人来られていまして、一人の方は教職員を目指したいということで辞められました。そういうことでNPOの方も人がいないから受けられないということで、来年度は、直営で実施することになります。私たちが人探しが必要となります。NPOの宮崎さんは免許を持っていませんが、とても寺子屋にやりがいを感じておられて、来年度からも、個人的にご協力したいとおっしゃっています。

他の人材では、教職員の先生で、退職された先生にお願いできないかなと思っています。

(田中 委員)

寺子屋ももう少し考えないといけないかなと思っている。宿題をさせる場というくらいの感覚でいいのかなと思うが。

(坂本 職務代理者)

人材が必要なのは特別支援教育の支援員。人材探しのいい方法がないのか。予算はあっても人がいないのが現状だ。

(松林 学校教育課長)

特別支援教育支援員、寺子屋スタッフなどをまとめて一本で人材派遣から派遣してもらおうとかできないとか検討はしましたが、現在の単価が低いため、委託した場合は、金額が増額するため難しいです。

(田中 委員)

コミュニティ・スクールですが評価委員は六栄と腹赤は残る。長洲小と清里はなくなってコミュニティ・スクールの委員になるのか。

(松林 学校教育課長)

そうです。学校運営協議会の委員さんが兼ねられます。

(田中 委員)

推進委員会議と評価委員会議が2つあって2つ報酬をもらうようになるのか。

(松林 学校教育課長)

はい、その方が兼任されていけばそのようになります。

(隈部 委員)

全体的には去年の申請ベースで来年度は何%増える予定か。それが目標方針とあっているか。そこを押さえないとこの目標にないものが増えてて、増えてるのにここにないというのは整合性が取れない。学校給食 700 万も予算あげているのにここにないというのはありえない。きちんと整理して頭につけないと全体がよく見えない。

それから、例えば 26 ページ学校教育推進委員のコストパフォーマンスが評価されていないと従来通りお金をつけていいか考えないといけない。普通は下げていくので。コストパフォーマンスの評価はちゃんとしないといけない。

それから 27 ページの ICT については、絶対外したくないのはモニター。モニターは絶対入れないといけない。これは推進委員会としての大きなテーマなのでモニターを外すことはあり得ない。ここに入らないのであれば、他の予算をつぎ込んででも、モニターを入れるということが LAN 整備よりもモニターが先と考える。

(坂本 職務代理者)

昨年度と比べて削除されたものがありますか。

(松林 学校教育課長)

削除されたものは、愛知県瀬戸市との子どもたちの交流事業として、今年度、小学 5 年生を対象に、瀬戸市の文化や産業を体験交流を実施しましたが、より、観光面を深めた方がいいのではとのことで、まちづくり課で実施するため、この事業は移管されました。ですので、この分が削除されています。

(坂本 職務代理者)

昨年、話題になっていた、標準学力調査の予算は上がっているのか。

(松林 学校教育課長)

資料の 20 ページをお願いします。小学校管理費事業というところで右側の上から 3 番目学力等調査委託料というのが小学校。中学校の分も管理事業に入れています。年度当初に中学校、年度末に小学校で、実施します。今年度については予算を流用して実施しております。来年度は予算を計上しております。中学校は 40 ページになります。

(隈部 委員)

ちなみに昨年度比で何%アップになっているのか。

(松林 学校教育課長)

後で休憩の時に、昨年度との比較財源表をお配りします。新規事業で金額が大きいのが入っていますので、昨年度よりは、金額は増えております。全体の事業費を見ても今

年度より上がっています。予算査定の時に、やり方を工夫することで事業費を抑えるとか、何かをなくすとか言われますが、現在の事業で無くすものはないと思っています。思い切ってなくすなら、事業を大々的に見直すところから考えないといけないと思います。

(田中 委員)

「夢の教室」で中学校の実施分はどうか。小学5年で実施してるので、中学校はキャリア教育とかを地域コーディネーターの方がされているので、中学校の夢の教室は見直してもいいのではと思うが。

(松林 学校教育課長)

「夢の教室」は、日本サッカー協会へ委託して実施しておりまして、対象学年が、小学5年、中学2年で実施しています。中学生で実施する理由は、翌年中学3年になると、受験を控え、進路を決めて、目標に向かって動き出す時期に合わせているものです。

(坂本 職務代理者)

前年度と比較しながら、必要なものと、削除するものと。削除は思い切ってしないとどんどん膨らんでいく。予算内でしょうとすると削られていく。ある程度制限しながら配分するという状況がくる。削除する部分がある程度見ていかないと、予算的に厳しくなっていく。

(松林 学校教育課長)

行事自体を見直さないと削れない部分もあります。学校である行事でバスの借り上げが必要とかありますので、行事を無くさないと削減できない部分もあります。

14ページの英語推進事業の委託をしています。来年度も指導者1名を外国語指導業務委託料として840万。英語検定の補助として15万計上しております。

(徳田 委員)

事業者は。

(松林 学校教育課長)

(株)ヴァンテージ・ジャパンです。

(徳田 委員)

これは継続ですか。

(松林 学校教育課長)

包括協定が3年でしたので来年度までです。32年度から小学校の指導要領が変わるので、その時にどういうやり方をするのかが検討課題です。以前、町長が英語の特区を取りたいと話されたが、どういうふうなやり方がいいのか、文科省と話をしております。現在の特例校の指定は継続で出来そうですが、構造改革特区の指定は今後、文科省と協議して進めていきます。ただ、今度は教科書改訂があるので、その辺の兼ね合いが難しいところです。

(隈部 委員)

ALTの予算は。

(松林 学校教育課長)

18ページをご覧ください。最大任用が5年となっております。エミリー先生が交代となるため、新しいALTの1年目で28万、4年目となるエリカ先生は33万で計上して

います。

(戸越教育長)

他にございませんか。なければ、学校教育課からの説明は終わります。

次に、生涯学習課からお願いします。

(藤井 生涯学習課長)

(以下、説明)

(戸越 教育長)

生涯学習課から説明がありましたけど、何か質問、意見等ありますか。

(田中 委員)

テニスコートのブロック塀が倒壊する危険があるというのは何か。

(藤井 生涯学習課長)

それも予算は先延ばしになっておりますが、対応として、囲いをして入らないようにしたいと考えております。

(徳田 委員)

ジョギングコースも予算が足りないのでは。

(藤井 生涯学習課長)

部分的なところは言っていましたが…、今年は数か所できております。

(隈部 委員)

65 ページの文化振興費で 30 年度から急激に減少したのは何故か。

(藤井 生涯学習課長)

29 年度決算が 1,107 千円、30 年度は 221 千円になっています。29 年度決算を見ると、13 番の委託料 853 千円が、六栄小のケヤキの延命措置の委託料でこの年だけ多かったです。

(戸越 教育長)

他にありませんか。なければ、この件に関しては終わります。次に行きます。

(戸越 教育長)

日程番号第 5、報告第 35 号について、事務局から説明をお願いします。

(報告第 35 号 生涯学習課長説明)

(戸越 教育長)

この件に関しまして、ご質問、ご意見があればよろしくをお願いします。

(田中 委員)

駐車場はどういう計画ですか。

(藤井 生涯学習課長)

どこまで広げるかも踏まえて、今後、計画を立てます。

(坂本 職務代理者)

長洲町に歴史的な史跡はここだけですか。

(藤井 生涯学習課長)

「ぼたもちさん」とは関連はないが、腹赤校区に景行天皇にまつわるものがありまして、あと腹赤新町に「関忠の丞」という文化財には指定されていませんが、墓があることが判明しました。他にも町内に点在しています。

(坂本 職務代理者)

「ぼたもちさん」は、最近注目されています。

(藤井 生涯学習課長)

現在、柳川市を中心に大河ドラマの招致をしております。

(戸越 教育長)

他にありませんか。

それではこの件に関しては、終わります。

次に行きます。

日程番号第 6、報告第 36 号について、事務局から説明をお願いします。

(報告第 36 号 学校教育課長説明)

(戸越 教育長)

この件に関しまして、ご質問、ご意見があればよろしくお願いします。

(隈部 委員)

特に議論されたことは何かあるのか。

(松林 学校教育課長)

各学校から児童生徒の状況について、報告が上がっておりまして、先日、報告した六栄小の 6 年生の件で、現在も 6 年 1 組を 2 クラスに分けて小人数学級をしております。朝の街頭挨拶、昼休みの掃除、帰るときの見守りなどは PTA と民生委員に協力をいただきながら実施中です。そんなに大きく変わった様子はありませんが、先生に対する暴言、言葉使いに関しては少しずつ減ってきておりまして、改善されてきております。子どもたち同士の対立で学校に来ていない児童はまだ解消できていませんが、まずは現在の 2 クラスを 1 クラスにして、授業ができるように対応をしております。教育長も毎日行って、児童への声かけ、先生に対して指導をしておられます。子どもたちを落ち着かせるような取り組みを、地域、PTA 保護者が一緒になって取り組みをしているところです。

(田中 委員)

中学校の部活動の検討はどういった内容ですか。腹栄と長洲で練習を一緒にすると聞いたが。社会体育に移行できるものは移行する。そういう動きになるのか。

(松林 学校教育課長)

人数が足りなくて大会に出れないところは合同で出ることが出来ますので、一緒に練習することを、今もやっています。個人種目では、小学校の社会体育で指導者がいるところに移行できないかどうか、話し合いをしています。小学生はいずれ中学生になるし指導者が変わると、教え方に戸惑うという問題もあります。中学校の部活動の顧問が必ずしも専門性があるとは限りません。そういった面を踏まえながら、検討をしていきたいと考えています。中学校の先生の働き方改革の課題もありますので、先生の負担を減らしたいと思っています。「にこにこクラブ」やそういった受け皿があるのであれば中学校の活動も地域へ下していきたいと考えています。町の教育委員会として、中学校部活動の今後の方針を示す必要があるのではと思います。各学校でばらばらに動いてしまう可能性がありますので。

(戸越 教育長)

私が考えているのは両校を合わせて、長洲町中学校部活動ということで、指導者も両

校から出せるようにして、長洲町として1つの学校として、社会体育に移行できるものは移行して、移行というのはあくまでも部活動としてだが、指導者を外部の方をお願いする。剣道あたりが一番スムーズに行くのかなと思う。若手で見られる方がいらっしゃるの
で。働き方改革で手放したいという考え方もあるかもしれないが、部活動が位置づけられている以上はしないとけないが、いずれそういう方向に進んでいこうから、町としても早めに体制を整えておきたい。

(戸越 教育長)

他にありませんか。なければこの件につきましては、終わります。

次に行きます。

日程番号第7、報告第37号について、事務局から説明をお願いします。

なお、個人情報が含まれますので、非公開として取扱います。

(報告第37号 学校教育課長説明)

－ 報告第37号については、個人情報の保護の観点から非公開 －

(戸越 教育長)

これで全ての日程を終了します。第15回長洲町教育委員会会議を終了します。大変お疲れさまでした。

閉会 (午前12時52分)